

## 1 級ボイラー技士試験公表問題解答解説 2026 年版 正誤表

下記のとおり、誤りがありましたので謹んで訂正いたします。

頁	訂正箇所	誤	正
73	問 7 解説 ↑ 12 行目	②Mg <sup>2+</sup> 1 当量 24.3/2 = 12.2 換算係数 50 ÷ 12.2 = 4.1	②Mg <sup>2+</sup> 1 当量 24/2 = 12 換算係数 50 ÷ 12 = 4.16
	問 7 解説 ↑ 7 行目	②-前略- 全硬度 [mgCaCO <sub>3</sub> /L] = [Ca <sup>2+</sup> mg/L] × 2.5 + [Mg <sup>2+</sup> mg/L] × 4.1	②[前略] 全硬度 [mgCaCO <sub>3</sub> /L] = [Ca <sup>2+</sup> mg/L] × 2.5 + [Mg <sup>2+</sup> mg/L] × 4.16
	問 7 解説 ↑ 5 行目	[20 mg/L] × 2.5 + [6 mg/L] × 4.1 = 74.6 [CaCO <sub>3</sub> /L] ≒ 75 [CaCO <sub>3</sub> /L]	[20 mg/L] × 2.5 + [6 mg/L] × 4.16 = 74.9 [CaCO <sub>3</sub> /L] ≒ 75 [CaCO <sub>3</sub> /L]
75	問 9 解説 ↑ 10 行目	(4) -前略- したがって、問の(4)の過剰なヒドラジンはアンモニアと窒素の記述は誤りである。	(4) -前略- したがって、問の(4)の過剰なヒドラジンはアンモニアと二酸化炭素の記述は誤りである。
190	問 4 解説 ↓ 6 行目	①伝熱面積合計が 500mm <sup>2</sup> 以上（貫流ボイラーのみの場合を除く。）：特級ボイラー技士	①伝熱面積合計が 500m <sup>2</sup> 以上（貫流ボイラーのみの場合を除く。）：特級ボイラー技士
	問 4 解説 ↓ 7 行目	②伝熱面積合計が 25mm <sup>2</sup> 以上 500mm <sup>2</sup> 未満の場合（貫流ボイラーのみの場合、伝熱面積合計が 500mm <sup>2</sup> 以上含む。）：特級又は一級ボイラー技士	②伝熱面積合計が 25m <sup>2</sup> 以上 500m <sup>2</sup> 未満の場合（貫流ボイラーのみの場合、伝熱面積合計が 500m <sup>2</sup> 以上含む。）：特級又は一級ボイラー技士
	問 4 解説 ↓ 9 行目	③伝熱面積合計が 25mm <sup>2</sup> 未満：特級、一級又は二級ボイラー技士	③伝熱面積合計が 25m <sup>2</sup> 未満：特級、一級又は二級ボイラー技士